



セキュリティ印刷アドバンス ユーザーズガイド

注意事項の定義

本ユーザーズガイドでは下記の記号が使われています。

重要

重要は、この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、物的損害の可能性がある内容を示しています。

お願い

お願いは、ご使用していただく上での注意事項、制限事項などの内容を示しています。



有益なヒントや補足情報を示しています。

著作権

本文書の情報は予告無く変更することがあります。本文書に記載されているソフトウェアは、ライセンス契約の下に提供されています。ソフトウェアは、これらの契約条項に従ってのみ使用またはコピーできます。本文書のいかなる部分も、ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

商標

ブラザーはブラザー工業株式会社の登録商標です。

Active Directory は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ブラザー製品、関連文書およびその他の資料に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

目次

セキュリティ印刷アドバンスの概要	1
セキュリティ印刷アドバンスを使用される前に	3
設定	4
プリントサーバーの設定.....	5
プリントサーバーに共有フォルダーを作成する.....	6
プリントサーバーに Brother Pull Print Driver をインストールする.....	8
対象製品の設定をする（スタンドアロンモード）.....	9
Web Based Management にアクセスする.....	10
ネットワークプロファイルを設定して共有フォルダーをリンクする（スタンドアロンモード）.....	11
対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする（スタンドアロンモード）.....	12
対象製品でユーザーを登録する.....	13
対象製品に ID カードを登録する.....	15
ID カードが正しいユーザーで登録されていることを確認する.....	18
ID カードをテストする（スタンドアロンモード）.....	19
対象製品の設定をする（Active Directory 認証モード）.....	20
ネットワークプロファイルを設定して共有フォルダーをリンクする（Active Directory 認証モード）.....	21
Active Directory 認証を有効にする.....	22
対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする（Active Directory 認証モード）.....	23
LDAP の設定（Active Directory 認証モード）.....	27
カードリーダーの設定をする（Active Directory 認証モード）.....	33
新しい ID カードをテストする（Active Directory 認証モード）.....	35
ユーザーのパソコンを設定する.....	36
ユーザーのパソコンから印刷する	37
ジョブ選択表示が無効の場合.....	38
ジョブ選択表示が有効の場合（製品にログインする前に印刷ジョブが送信される場合）.....	39
Brother Pull Print Job Delete Tool を使用する	40
トラブルシューティング	41
エラーメッセージ.....	42
本製品で問題が発生した場合.....	44
エラーログファイル.....	45
動作環境	46

セキュリティ印刷アドバンスの概要

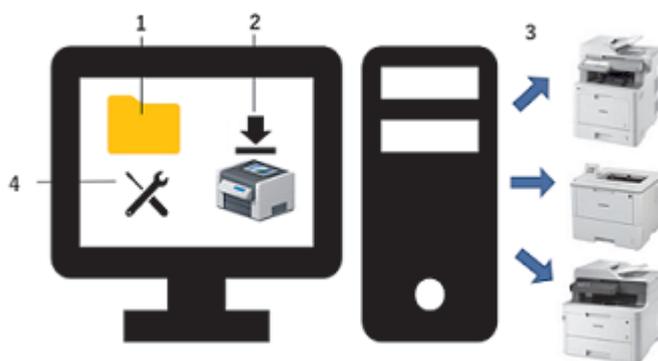
セキュリティ印刷アドバンスは、Windows ベースの印刷ソリューションです。

ユーザーのパソコンから送信された印刷ジョブは、Windows パソコン（プリントサーバー）上の共有フォルダーに保存されます。¹ ユーザーは、パネル操作によるパスワード入力、または NFC ID カードを使用した認証により、あらかじめ登録された任意の対象製品から印刷することができます。²

セキュリティ印刷アドバンスソリューションのメリット

- 機密の印刷ドキュメントを他人に見られないようにする
- 放置プリントを低減し、印刷コストを削減する
- いつもの製品が使用中でも、使用可能な製品を使って印刷することができる

管理者



1. プリントサーバーに共有フォルダーを作成します。¹
2. **Brother Pull Print Driver** をインストールします（ユーザーと共有するため、印刷ジョブはプリントサーバーの共有フォルダーに保存されます）。¹
3. 対象製品の設定をします。
詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください。
4. 保存された印刷ジョブを自動で削除するには、**Brother Pull Print Job Delete Tool** を使用します。

ユーザー



1. ユーザーのパソコンに **Brother Pull Print Driver** をインストールします。
2. ユーザーは **Brother Pull Print Driver** を使って印刷を行います。
各ユーザーの印刷ジョブがプリントサーバーの共有フォルダーに保存されます。¹
3. ユーザーは、対象製品のいずれかに NFC カードをかざして、画面で実行したい印刷ジョブを選択します。

¹ 「プリントサーバー」とは、共有フォルダーを持つ実行されている Windows パソコンのことです。詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください。

² Active Directory を使用する場合はユーザー名が必要です。



関連情報

関連トピック：

- [設定](#)
- [動作環境](#)

セキュリティ印刷アドバンスを使用される前に

有効化

このソリューションを有効にするには、有効なライセンスコード、および対象製品にライセンスコードを送信できるソフトウェア（Brother Mass Deployment Tool または BRAdmin Professional 4 など）が必要です。詳細は、お近くのブラザーの窓口にお問い合わせください。

サポートしているカード種別

本ソリューションは、内蔵および外付け USB カードリーダー、一般的に使用されるほとんどの RFID/NFC タグに対応しています。

対応するカード種別に関しては、お近くのブラザーの窓口にお問い合わせください。

設定

以下のいずれかを使って、複数の対象製品を設定します。

- **BRAdmin Professional 4**
- **Mass Deployment Tool**

support.brother.co.jp で、お使いのモデルの **ソフトウェアダウンロード** ページに移動し、いずれかのソフトウェアをダウンロードします。

モード

権限のあるユーザーであることを確認するため、本製品によりユーザーデータベースに登録されているユーザーであることが確認されます。セキュリティ印刷アドバンスは、2 種類のユーザーデータベースに対応しています。

- **本製品の内部データベース（スタンドアロンモード）**
セキュリティ印刷アドバンスを製品の内部データベースと合わせて使用する場合は、「関連トピック」をご覧ください。
- **Microsoft Active Directory データベース（Active Directory 認証モード）**
セキュリティ印刷アドバンスを Active Directory と合わせて使用する場合は、「関連トピック」をご覧ください。

✓ 関連情報

関連トピック：

- [対象製品の設定をする（スタンドアロンモード）](#)
- [対象製品の設定をする（Active Directory 認証モード）](#)

設定

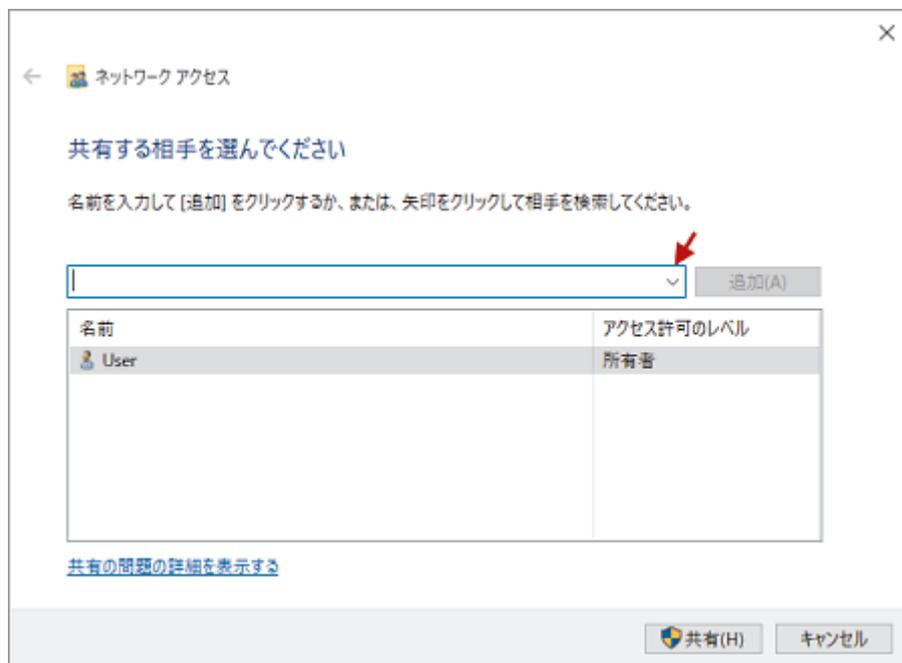
- [プリントサーバーの設定](#)
- [対象製品の設定をする（スタンドアロンモード）](#)
- [対象製品の設定をする（Active Directory 認証モード）](#)
- [ユーザーのパソコンを設定する](#)
- [セキュリティ印刷アドバンスの概要](#)

プリントサーバーの設定

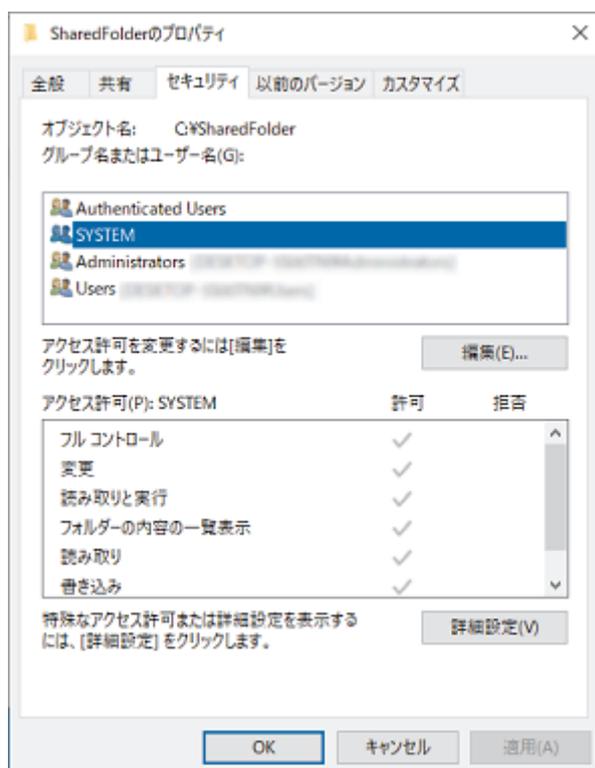
- プリントサーバーに共有フォルダーを作成する
- プリントサーバーに **Brother Pull Print Driver** をインストールする

プリントサーバーに共有フォルダーを作成する

1. プリントサーバーに共有フォルダーを作成します（例：C:\SharedFolder）。
2. フォルダーを右クリックし、**プロパティ** を選択します。
3. **共有**タブをクリックし、**共有**ボタンをクリックします。
4. 検索ドロップダウンリストを使って、共有フォルダへのアクセスを許可するユーザー名を検索します。



5. ユーザー名をクリックして選択します。
6. **共有** ボタンをクリックして保存し、**終了** をクリックして画面を閉じます。
7. **セキュリティ** タブをクリックして、共有フォルダーへのアクセス許可を変更します。
印刷ジョブを保護するため、権限のあるユーザー以外はこのフォルダーにアクセスできないようにします。



重要

- 共有フォルダーの要件：
 - SYSTEM：読み取り/書き込みのアクセス許可が必須
 - 追加したユーザー：読み取り/書き込みのアクセス許可が必須
 - 他のユーザーに対しては許可を制限することを強くお勧めします。
-

関連情報

- [プリントサーバーの設定](#)
-

プリントサーバーに **Brother Pull Print Driver** をインストールする

1. support.brother.co.jp で、お使いのモデルの **ソフトウェアダウンロード** ページから **セキュリティ印刷アドバンスインストーラー** をダウンロードします。
2. ダウンロードした EXE ファイルをダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールを進めます。



インストール時に、プリントキュー名と共有フォルダーのパスを指定します。

- プリントサーバーに **Brother Pull Print Driver** がインストールされます。
- プリントサーバーに **Brother Pull Print Job Delete Tool** がインストールされます。

お願い

プリントキューを追加する場合、**セキュリティ印刷アドバンスインストーラー** を再び使用する必要があります。使用しないとセキュリティ印刷アドバンスが動作しません。

PullPrintDriver フォルダーの **start.exe** をダブルクリックします。ダウンロードした EXE ファイルの現在のディレクトリに、**PullPrintDriver** フォルダーが展開されます。



関連情報

- [プリントサーバーの設定](#)

関連トピック：

- [本製品で問題が発生した場合](#)

対象製品の設定をする (スタンドアロンモード)

- Web Based Management にアクセスする
- ネットワークプロファイルを設定して共有フォルダーをリンクする (スタンドアロンモード)
- 対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする (スタンドアロンモード)
- 対象製品でユーザーを登録する
- 対象製品に ID カードを登録する
- ID カードが正しいユーザーで登録されていることを確認する
- ID カードをテストする (スタンドアロンモード)

Web Based Management にアクセスする

1. ウェブブラウザを起動します。
2. ブラウザーのアドレスバーに「http:// 製品の IP アドレス」を入力します（「製品の IP アドレス」の部分には本製品の IP アドレスまたはホスト名を入力します）。

例：

https://192.168.1.2

3. パスワードを入力するように求められたら入力し、をクリックします。



- 本製品の設定を管理するための初期ログインパスワードは、本製品の背面に記載されています。「Pwd」の後に続く番号がパスワードとなります。
- 本製品を不正アクセスから保護し、機能およびソフトウェアの安全を向上させるため、初期ログインパスワードを変更することを推奨しています。



関連情報

- [対象製品の設定をする \(スタンドアロンモード\)](#)

ネットワークプロファイルを設定して共有フォルダーをリンクする (スタンドアロンモード)

- >> ネットワークプロファイルの設定
- >> ネットワークプロファイルを選択する

ネットワークプロファイルの設定

1. [Web Based Management](#) にアクセスする
2. **管理者設定** タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの **ネットワークプロファイル** をクリックします。
4. 使用したいネットワークプロファイルを選択して、**ネットワーク** オプションを選択し、**OK** をクリックします。



- マルチファンクション (MFC) 製品を設定する場合は、1~10 を使用します。
- MFC とプリンターの両方を設定する場合、プロファイル 1~5 を使用することを推奨します。

5. プロファイルを設定します。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。
ネットワークフォルダパス	印刷ジョブの送信先である CIFS サーバーのフォルダーのパスを入力します (最大 64 文字を推奨)。
認証方法	認証方式を選択します。
ユーザー名	ネットワークフォルダパス 欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザー名 (最大 96 文字) を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 user@domain ドメイン名\ユーザー名
パスワード	ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード (32 文字以下) を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。

6. **OK** をクリックします。

ネットワークプロファイルを選択する

1. [Web Based Management](#) にアクセスする
2. **管理者設定** タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの **保存ジョブ** をクリックします。
4. **ネットワークプロファイル** ドロップダウンリストをクリックし、作成したプロファイルを選択します。
5. **OK** をクリックします。



関連情報

- [対象製品の設定をする \(スタンドアロンモード\)](#)

対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする (スタンドアロンモード)

- セキュリティ印刷アドバンスソフトウェアソリューションを対象製品で有効にする必要があります。
- 本製品をネットワークに接続して、ウェブブラウザからアクセスできるようにする必要があります。

1. Web Based Management にアクセスする
2. 管理者設定タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの **制限機能** (または **制限管理**) をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰ をクリックします。

4. **セキュリティ機能ロック** ラジオボタンを選択して、**OK** をクリックします。
5. 左側にあるナビゲーションバーの **セキュリティ機能ロック** をクリックします。



6. **プリントデータ蓄積** 欄で、**オン** を選択します。
7. **印刷ジョブの場所** 欄に **ネットワーク** が表示されていることを確認します。



このオプションは、セキュリティ印刷アドバンスが有効であるすべての製品に表示されます。

8. **ジョブ選択表示** 欄で、**オン** を選択します。



このオプションを有効にすると、製品に自動で印刷ジョブをリリースさせるのではなく、ユーザーが印刷ジョブを選択できるようになります。

9. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- 対象製品の設定をする (スタンドアロンモード)

関連トピック :

- ID カードをテストする (スタンドアロンモード)
- ユーザーのパソコンから印刷する

対象製品でユーザーを登録する

ユーザー名として、必ずユーザーの Windows ログイン名を使用してください。

1. **Web Based Management** にアクセスする
2. **管理者設定** タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーのいずれかの **機能制限** オプションをクリックします。
初めてセキュリティ印刷アドバンスを設定する場合は、一覧表示されている最初の **機能制限 / 制限機能** オプションをクリックします。



4. **ユーザーリスト / 機能制限** の入力欄に、設定するユーザープロファイルの名前を入力します。
これがユーザー ID となります。

ユーザーリスト/機能制限	機能										枚数制限		ページカウンター			
	印刷	コピー	スキャン	ファックス		USBダイレクト		クラウド接続		お役立ちツールオン	最大ページ数	カラープリント	カウンターリセット			
				送信	受信	ダイレクトプリント	スキャン	アップロード	ダウンロード				合計	モノクロ	カラー	
一般モード	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="0"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0	0									
1 テストユーザ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="0"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0	0									
2	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="0"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0	0									
3	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="0"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0	0									

5. **OK** をクリックします。
6. 左側にあるナビゲーションバーのいずれかの **ユーザーリスト** オプションをクリックします。初めてセキュリティ印刷アドバンスを設定する場合は、リストの最初の **ユーザーリスト** オプションをクリックします。
7. **ユーザーリスト** 入力欄の最初の空白セルに新しいユーザーの名前を入力します。

重要

ユーザーの Windows ログイン名を使用する必要があります。

基本設定 アドレス帳 ファクス コピー 印刷 スキャン 管理者設定 ネットワーク

アラジャーソリューションセンター Bottom

ログインパスワード
制限管理
セキュリティ機能ロック
機能制限 1-25
機能制限 26-50
機能制限 51-75
機能制限 76-100
ユーザーリスト 1-25
ユーザーリスト 26-50
ユーザーリスト 51-75
ユーザーリスト 76-100

ユーザーリスト

ユーザーリスト欄にPCログイン名を入力してください。PCから印刷する際に、PCログイン名によってユーザー認証します。

ユーザーリスト	パスワード	メールアドレス	カードID	ユーザーリスト/機能制限
1 SMITHJOHN	532			01 JOHNSMITH
2				---
3				---
4				---

8. **ユーザーリスト / 機能制限** 入力欄のドロップダウンリストから同じ名前を選択します。



名前と ID を入力するときは注意してください。登録中にユーザー名のつづりを間違えるとユーザーを認識できません。

9. **パスワード** 入力欄にユーザーのパスワードを入力します。
このパスワードは本製品でユーザーの ID カードを登録するときに必要です。



関連情報

- 対象製品の設定をする（スタンドアロンモード）

対象製品に ID カードを登録する

1. 製品の画面で、[一般モード] プロファイルを押します。



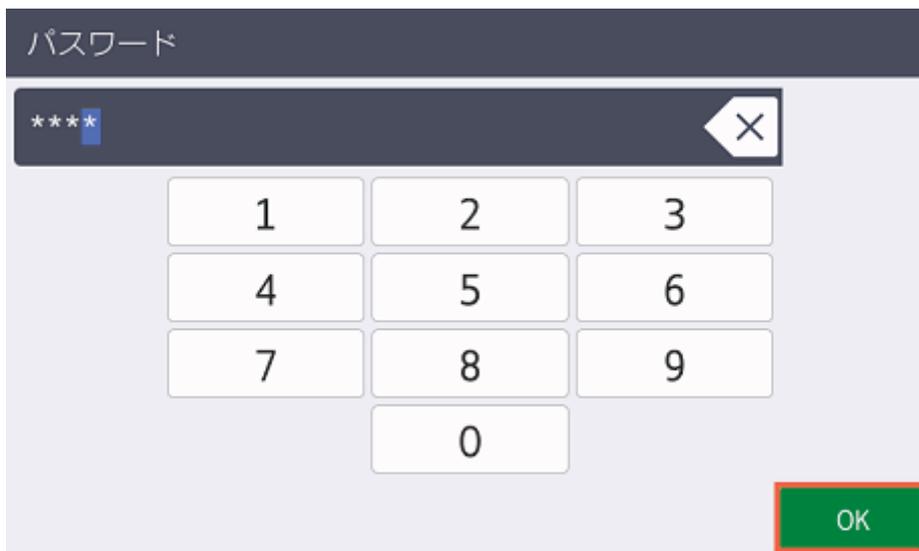
2. [ユーザー切替] を押します。



3. Web Based Management で登録したユーザー名を押します。



4. ユーザーに対して設定したパスワードを入力して、[OK] を押します。



5. ユーザー ID を押します。



6. [カード情報を登録する]を押します。



7. 本製品の操作パネルの NFC タッチ部分 () に ID カードをタッチします。
製品に、ID カードの新しい ID 番号が登録されます。

8. [OK]を押します。



✓ 関連情報

- 対象製品の設定をする（スタンドアロンモード）

▲ホーム > 設定 > 対象製品の設定をする（スタンドアロンモード） > ID カードが正しいユーザーで登録されていることを確認する

ID カードが正しいユーザーで登録されていることを確認する

1. Web Based Management にアクセスする
2. 管理者設定タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの **セキュリティ機能ロック** をクリックします。
4. ユーザー情報からなる **ユーザーリスト** をクリックします。

基本設定 アドレス帳 ファクス コピー 印刷 スキャン 管理者設定 ネットワーク

ログインパスワード
制限管理
セキュリティ機能ロック
機能制限 1-25
機能制限 26-50
機能制限 51-75
機能制限 76-100
▶ユーザーリスト 1-25
ユーザーリスト 26-50
ユーザーリスト 51-75
ユーザーリスト 76-100
ユーザーリスト 101-125
ユーザーリスト 126-150
ユーザーリスト 151-175
ユーザーリスト 176-200
前回ログ
カウンター自動リセット
カードリーダー設定
外付けカードリーダー

Bottom

ユーザーリスト

ユーザーリスト 欄にPCログイン名を入力してください。PCから印刷する際に、PCログイン名によってユーザー認証します。

	ユーザーリスト	パスワード	メールアドレス	カードID	ユーザーリスト/機能制限
1	ユーザテスト	7532		7658538668074316	01 テストユーザ
2					---
3					---
4					---
5					---
6					---
7					---
8					---
9					---
10					---
11					---

5. ID カードが正しいユーザーで登録されていること、および以下の項目の情報が正しいことを確認します。
 - ユーザーリストのユーザー ID
 - パスワード
 - カード ID
 - ユーザーリスト/機能制限 プロパティ
6. ID カードをユーザーに渡す前に、本製品での ID カードの機能をテストして正しく機能することを確認します。

✓ 関連情報

- 対象製品の設定をする（スタンドアロンモード）

ID カードをテストする（スタンドアロンモード）

1. 印刷ジョブをユーザーが設定した製品に送信します。
2. 本製品の操作パネルの NFC タッチ部分 () に ID カードをタッチして、印刷ジョブをリリースします。
 - **ジョブが印刷される場合**
ユーザーに ID カードを渡し、印刷取得方法を選択します。「関連トピック」をご覧ください。
 - **ジョブが印刷されない場合**
以下を確認してください。
 - 本製品の Web Based Management 画面でユーザーが設定されていること。
 - ユーザー ID が本製品の Web Based Management 画面において正しく登録されていること。
 - ID カードが本製品で正しく登録されていること。

✓ 関連情報

- [対象製品の設定をする（スタンドアロンモード）](#)

関連トピック：

- [対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする（スタンドアロンモード）](#)

対象製品の設定をする (Active Directory 認証モード)

- ネットワークプロファイルを設定して共有フォルダーをリンクする (Active Directory 認証モード)
- Active Directory 認証を有効にする
- 対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする (Active Directory 認証モード)
- LDAP の設定 (Active Directory 認証モード)
- カードリーダーの設定をする (Active Directory 認証モード)
- 新しい ID カードをテストする (Active Directory 認証モード)

ネットワークプロファイルを設定して共有フォルダーをリンクする (Active Directory 認証モード)

- >> ネットワークプロファイルの設定
- >> ネットワークプロファイルを選択する

ネットワークプロファイルの設定

1. Web Based Management にアクセスする
2. Active Directory 認証を有効にする
3. 管理者設定タブをクリックします。
4. 左側にあるナビゲーションバーの **ネットワークプロファイル** をクリックします。
5. 使用したいネットワークプロファイルを選択して、**ネットワーク** オプションを選択し、**OK** をクリックします。



- マルチファンクション (MFC) 製品を設定する場合は、1~10 を使用します。
- MFC とプリンターの両方を設定する場合、プロファイル 1~5 を使用することを推奨します。

6. プロファイルを設定します。

オプション	詳細
プロファイル名	このサーバープロファイルの名前を入力します (15 文字以下の英数字)。
ネットワークフォルダパス	印刷ジョブの送信先である CIFS サーバーのフォルダーのパスを入力します (最大 64 文字を推奨)。
認証方法	認証方式を選択します。
ユーザー名	ネットワークフォルダパス 欄で指定したフォルダーへのデータの書き込み許可を持つユーザー名 (最大 96 文字) を入力します。ユーザー名がドメインの一部である場合、以下のいずれかの形式でユーザー名を入力します。 user@domain ドメイン名\ユーザー名
パスワード	ユーザー名 欄に入力したユーザー名のパスワード (32 文字以下) を入力します。 パスワード確認 欄にパスワードを再入力します。

7. **OK** をクリックします。

ネットワークプロファイルを選択する

1. Web Based Management にアクセスする
2. Active Directory 認証を有効にする
3. 管理者設定タブをクリックします。
4. 左側にあるナビゲーションバーの **保存ジョブ** をクリックします。
5. **ネットワークプロファイル** ドロップダウンリストをクリックし、作成したプロファイルを選択します。
6. **OK** をクリックします。

✓ 関連情報

- 対象製品の設定をする (Active Directory 認証モード)

Active Directory 認証を有効にする

1. Web Based Management にアクセスする
2. 管理者設定タブをクリックします。
3. 左側にあるナビゲーションバーの **制限機能** (または **制限管理**) をクリックします。



画面の左側にナビゲーションメニューが表示されない場合は、☰ をクリックします。

4. **Active Directory 認証** ラジオボタンを選択します。

The screenshot shows a web interface with a top navigation bar containing tabs: 基本設定, アドレス帳, ファクス, コピー, 印刷, スキャン, 管理者設定, and ネットワーク. The '管理者設定' tab is selected. On the left is a navigation menu with items: ログインパスワード, 制限管理 (expanded), Active Directory認証, カードリーダー設定, 外付けカードリーダー, 印刷ログ機能設定, 電子署名付PDF, 時計設定, リセットメニュー, and ファームウェアの更新. The main content area is titled '制限管理' and contains the following text: '制限機能 ユーザーのプリンター/MFC本体の機能制限と本体設定の変更を防止するには、始めに制限機能から制限方法を選択します。その後セキュリティ設定ロック内で制限したい個々の項目の設定が行えます。' Below this text are four radio buttons: 'オフ', 'セキュリティ機能ロック', 'Active Directory認証' (which is selected and highlighted with a red box), and 'LDAP認証'.

5. **OK** をクリックします。



関連情報

- 対象製品の設定をする (Active Directory 認証モード)

対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする (Active Directory 認証モード)

本製品の要件

- 対象製品は、Active Directory 認証に対応している必要があります。
- セキュリティ印刷アドバンスソフトウェアソリューションを対象製品で有効にする必要があります。
- 対象製品をネットワークに接続して、ウェブブラウザからアクセスできるようにする必要があります。

Active Directory の要件

- LDAP プロトコル対応のアクセス可能な Active Directory サーバー。
- Active Directory に NFC カードの ID 情報を入力できる機能。
- パスワードの有効期限が切れていないサービス (IT) アカウント。

カードリーダーの要件

NFC カードの ID を Active Directory に初期登録するための外付けの NFC カードリーダー。

その他の要件

対象製品と Active Directory サーバー間の日時の SNTP 同期。

- [Web Based Management にアクセスする](#)
- [Active Directory 認証を有効にする](#)
- 管理者設定タブをクリックします。
- プリントデータ蓄積 欄で、**オン** を選択します。

Active Directory 認証

プリントデータ蓄積	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
印刷ジョブの場所	ネットワーク
ジョブ選択表示	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
ファクス受信データ蓄積	<input checked="" type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン
ユーザーIDを記憶	<input checked="" type="radio"/> オフ <input type="radio"/> オン

- 印刷ジョブの場所 欄に **ネットワーク** が表示されていることを確認します。



このオプションは、セキュリティ印刷アドバンスが有効であるすべての製品に表示されます。

- ジョブ選択表示 欄で、**オン** を選択します。



このオプションを有効にすると、製品に自動で印刷ジョブをリリースさせるのではなく、ユーザーが印刷ジョブを選択できるようになります。

- Active Directory サーバアドレス** 欄に、Active Directory サーバーの IP アドレスまたは Fully Qualified Domain Name (FQDN) を入力します。



FQDN 名を使用している場合は、**ネットワーク > 有線/無線 > 詳細設定** で DNS の設定を行います。

Active Directoryサーバ設定

Active Directoryサーバアドレス

Active Directoryドメイン名

プロトコルと認証方式

メールアドレス取得 オフ オン

ユーザーのホームディレクトリ取得 オフ オン

LDAPポート

LDAP検索場所

LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。

DN取得

8. Active Directory ドメイン名 (NetBIOS 名) を入力します。

Active Directoryサーバ設定

Active Directoryサーバアドレス

Active Directoryドメイン名

プロトコルと認証方式

メールアドレス取得 オフ オン

ユーザーのホームディレクトリ取得 オフ オン

LDAPポート

LDAP検索場所

LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。

DN取得

9. Active Directory サーバーが使用する **プロトコルと認証方式** を選択します。
標準設定は「LDAP + kerberos」です。

Active Directoryサーバ設定

Active Directoryサーバアドレス	<input type="text" value="ad.domain.address"/>
Active Directoryドメイン名	<input type="text" value="cn"/>
プロトコルと認証方式	<input type="text" value="LDAP + kerberos"/>
メールアドレス取得	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
ユーザーのホームディレクトリ取得	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
LDAPポート	<input type="text" value="389"/>
LDAP検索場所	<input type="text"/> LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。 <input type="button" value="DN取得"/> <input type="text"/>

10. LDAP ポート 番号を入力します (デフォルト : 389)。

LDAP + kerberos 認証方式の場合のみ可能です。

Active Directoryサーバ設定

Active Directoryサーバアドレス	<input type="text" value="ad.domain.address"/>
Active Directoryドメイン名	<input type="text" value="cn"/>
プロトコルと認証方式	<input type="text" value="LDAP + kerberos"/>
メールアドレス取得	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
ユーザーのホームディレクトリ取得	<input type="radio"/> オフ <input checked="" type="radio"/> オン
LDAPポート	<input type="text" value="389"/>
LDAP検索場所	<input type="text"/> LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。 <input type="button" value="DN取得"/> <input type="text"/>

11. 本製品が通信する必要のある Active Directory サーバーの一部を示す LDAP 検索場所 を入力します。

LDAP + kerberos 認証方式の場合のみ可能です。

Active Directoryサーバ設定

Active Directoryサーバアドレス

Active Directoryドメイン名

プロトコルと認証方式

メールアドレス取得 オフ オン

ユーザーのホームディレクトリ取得 オフ オン

LDAPポート

LDAP検索場所

LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。

DN取得



最新の Active Directory サーバーのほとんどでこの設定のサポートが提供されています。 **DN 取得** ボタンをクリックし、リストから LDAP 検索場所を選択します。

12. **OK** をクリックします。



関連情報

- 対象製品の設定をする (Active Directory 認証モード)

関連トピック：

- 新しい ID カードをテストする (Active Directory 認証モード)
- ユーザーのパソコンから印刷する

LDAP の設定 (Active Directory 認証モード)

1. Web Based Management にアクセスする
2. Active Directory 認証を有効にする
3. 管理者設定タブをクリックします。
4. 左側にあるナビゲーションバーの **Active Directory 認証** を選択します。
5. **LDAP** をクリックします。

The screenshot shows the LDAP configuration interface. It includes the following elements:

- LDAPポート**: A text input field containing the value "389".
- LDAP検索場所**: A text input field that is currently empty.
- LDAPv3対応説明**: A paragraph of text explaining that for LDAPv3-compliant servers, the "DN取得" button can be used to automatically retrieve available search locations. It notes that if multiple candidates are retrieved, one should be selected from the list below.
- DN取得**: A button with a dropdown arrow next to it, used to retrieve search locations.
- SNTP>>**: A link in the left navigation bar.
- LDAP>>**: A link in the left navigation bar, highlighted with a red rectangular box.

6. **LDAP 検索**欄で、**オン**をクリックします。
7. **LDAP アドレス** 欄に、Active Directory サーバーの IP アドレスまたは Fully Qualified Domain Name (FQDN) を入力します (1~64 ASCII 文字)。
例：192.0.0.1、, ldap.example.net。 .

LDAP

LDAP検索

オフ オン

基本設定

LDAPアドレス

ad.domain.address

ポート

389

検索場所

LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。

DN取得

認証方式

パスワード認証 認証なし Kerberos認証

ユーザー名

パスワード

パスワード設定

パスワード確認



FQDN 名を使用している場合は、**ネットワーク > 有線/無線 > 詳細設定**で DNS の設定を行います。

8. **ポート** 番号を入力します (1~65535、デフォルト : 389)。

LDAP

LDAP検索 オフ オン

基本設定

LDAPアドレス

ポート

検索場所

LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。

認証方式 パスワード認証 認証なし Kerberos認証

ユーザー名

パスワード

パスワード設定

パスワード確認

9. 本製品が通信する必要のある Active Directory サーバーの一部を示す **検索場所** のオプションを入力します (1~255 UTF8 文字)。

例 : dc = example, ou = sales, o = company。

LDAP

LDAP検索

オフ オン

基本設定

LDAPアドレス

ad.domain.address

ポート

389

検索場所

LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。

DN取得

認証方式

パスワード認証 認証なし Kerberos認証

ユーザー名

パスワード

パスワード設定

パスワード確認



最新の Active Directory サーバーのほとんどでこの設定のサポートが提供されています。 **DN 取得** ボタンをクリックし、リストから LDAP 検索場所を選択します。

10. LDAP サーバーに接続するための **認証方式** を選択します。

LDAP

LDAP検索 オフ オン

基本設定

LDAPアドレス

ポート

検索場所

LDAPv3に対応したLDAPサーバーでは、「DN取得」ボタンを押下することで利用可能な検索場所を自動的に取得することができます。複数の候補が取得された場合には、下のリストから一つを選択してください。

DN取得

認証方式 パスワード認証 認証なし Kerberos認証

ユーザー名

パスワード

パスワード設定

パスワード確認

11. 選択した認証方式に応じて、次の操作を行ってください。

オプション	説明
パスワード認証	<p>(1) 以下のように、サービスアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none">ユーザー名：ID 名 (cn = admin 管理者、, ou = 営業、sales, o = company 企業) (1~255 UTF8 文字)パスワード：サービスアカウントのパスワード (1~32 UTF8 文字) <p>(2) 次の手順に進みます。</p>
認証なし	次の手順に進みます。
Kerberos	<p>(1) 以下のように、サービスアカウントのユーザー名とパスワードを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none">ユーザー名：ID 名 (cn = admin, 管理者、 ou = sales, 営業、 o = 企業 company) (1~255 UTF8 文字)パスワード：サービスアカウントのパスワード (1~32 UTF8 文字) <p>(2) (オプション) LDAP サーバー以外のサーバーを使用する場合は、Kerberos サーバーアドレスと LDAP アドレスは同一 のチェックボックスのチェックを外し、Kerberos サーバーのホスト名または IP アドレスを Kerberos サーバーアドレス 欄に入力します (1~64 ASCII 文字)。</p> <p>(3) 次の手順に進みます。</p>

12. LDAP サーバーに接続するために必要な検索キー（Active Directory の NFC カード ID）を **カード ID 属性名 (検索する属性)** 欄に入力します（1～64 ASCII 文字）。

カードID属性名 (検索する属性)	<input type="text"/>
名前属性名	<input type="text" value="cn"/>
Active Directory 認証>>	

13. LDAP サーバーに接続するために必要な属性名を **名前属性名 (検索する属性)** 欄に入力します（1～64 ASCII 文字、デフォルト：cn）。

カードID属性名 (検索する属性)	<input type="text"/>
名前属性名	<input type="text" value="cn"/>
Active Directory 認証>>	

14. **OK** をクリックします。

- **正常に設定された場合**
本製品により、例えばユーザーのメールアドレスなど、LDAP のアドレス帳から検索クエリが返されます。
- **設定に失敗した場合**
本製品に該当するエラーメッセージが表示されます。
詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください：

✓ 関連情報

- [対象製品の設定をする（Active Directory 認証モード）](#)

関連トピック：

- [エラーメッセージ](#)

カードリーダーの設定をする (Active Directory 認証モード)

1. Web Based Management にアクセスする
2. Active Directory 認証を有効にする
3. 管理者設定タブをクリックします。
4. 左側にあるナビゲーションバーの**カードリーダー設定**をクリックします。

カードリーダー設定

USBカードリーダー認証 オフ オン

内蔵NFCリーダー オフ オン

NFCリーダー

対応カード種別

NFCデータフォーマット

進数 10進数 16進数

バイト順 標準 リバース

データ長制限

接頭語

接尾語

オプション	説明
外付けのカードリーダーを使用する場合	(1) USB カードリーダー認証 欄で、 オン をクリックします。
内蔵カードリーダーを使用する場合	(1) 内蔵 NFC リーダー 欄で、 オン をクリックします。 (2) 対応カード種別 ドロップダウンリストで、内蔵 NFC カードリーダーが対応するカード種別を選択します。 (3) 内蔵 NFC カードリーダーによって取得され、サーバーに送信されたカード ID の 進数 を指定します。 (4) 内蔵 NFC カードリーダーによって取得されたカード ID の バイト順 を指定します。 (5) 内蔵 NFC カードリーダーによって取得され、サーバーに送信されたカード ID の最大データ長を データ長制限 欄に入力します (1~255、デフォルト: 20)。 (6) (オプション) 接頭語 欄に、内蔵 NFC カードリーダーによって取得されたカード ID の接頭語を入力します (1~20 ASCII 文字、デフォルト: 空白)。 (7) (オプション) 接尾語 欄に、内蔵 NFC カードリーダーによって取得されたカード ID の接尾語を入力します (1~20 ASCII 文字、デフォルト: 空白)。

5. **OK** をクリックします。

ID カードをユーザーに提供する前に、ID カードが正常に機能することを確認するため、機能をテストします。
詳しい説明は「関連トピック」をご覧ください。

関連情報

- [対象製品の設定をする \(Active Directory 認証モード\)](#)

関連トピック：

- [新しい ID カードをテストする \(Active Directory 認証モード\)](#)
-

新しい ID カードをテストする (Active Directory 認証モード)

1. 印刷ジョブをユーザーが設定した製品に送信します。
2. 本製品の操作パネルの NFC タッチ部分 () に ID カードをタッチして、印刷ジョブをリリースします。
 - **ジョブが印刷される場合**
ID カードをユーザーに渡します。印刷取得方法を選択します。「関連トピック」をご覧ください。
 - **ジョブが印刷されない場合**
以下を確認してください。
 - Active Directory に登録されている ID が NFC カードの ID と一致すること。
 - 本製品の Web Based Management 画面でユーザーが設定されていること。

✓ 関連情報

- [対象製品の設定をする \(Active Directory 認証モード\)](#)

関連トピック：

- [対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする \(Active Directory 認証モード\)](#)
- [カードリーダーの設定をする \(Active Directory 認証モード\)](#)

ユーザーのパソコンを設定する

1. ユーザーのパソコンからプリントサーバーにアクセスします。
2. 共有ドライバーをダブルクリックして、**Brother Pull Print Driver** をインストールします。



関連情報

- [設定](#)

ユーザーのパソコンから印刷する

- ジョブ選択表示が無効の場合
- ジョブ選択表示が有効の場合（製品にログインする前に印刷ジョブが送信される場合）
- 対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする（スタンドアロンモード）
- 対象製品を設定してセキュリティ印刷アドバンスを有効にする（Active Directory 認証モード）

ジョブ選択表示が無効の場合

1. ユーザーのパソコンの **Brother Pull Print Driver** を使って、プリントサーバーに印刷ジョブを送信します。
2. 本製品の操作パネルの NFC タッチ部分 () に ID カードをタッチします。
印刷ジョブがリリースされ、左上隅にユーザー ID が表示されます。

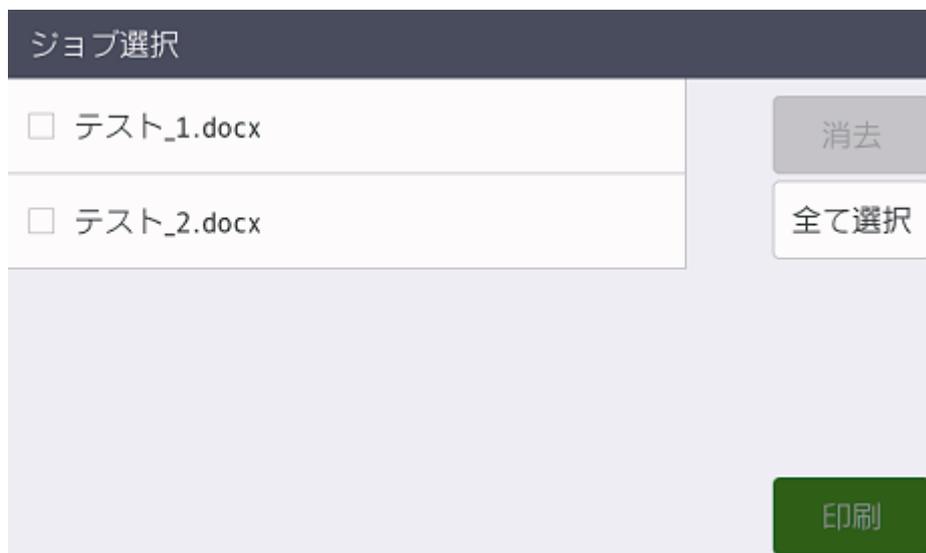


✓ 関連情報

- [ユーザーのパソコンから印刷する](#)

ジョブ選択表示が有効の場合（製品にログインする前に印刷ジョブが送信される場合）

1. ユーザーのパソコンの **Brother Pull Print Driver** を使って、プリントサーバーに印刷ジョブを送信します。
2. 本製品の操作パネルの NFC タッチ部分（) に ID カードをタッチします。
3. 印刷ジョブを選択してから、[プリンター] を押します。



✓ 関連情報

- [ユーザーのパソコンから印刷する](#)

Brother Pull Print Job Delete Tool を使用する

このツールを使用すると、管理者は保存された印刷ジョブを監視し、自動で削除することができます

1. 次のいずれかを行ってください。

- Windows 10

 > **Brother Pull Print Job Delete Tool** をクリックします。

- Windows 8.1

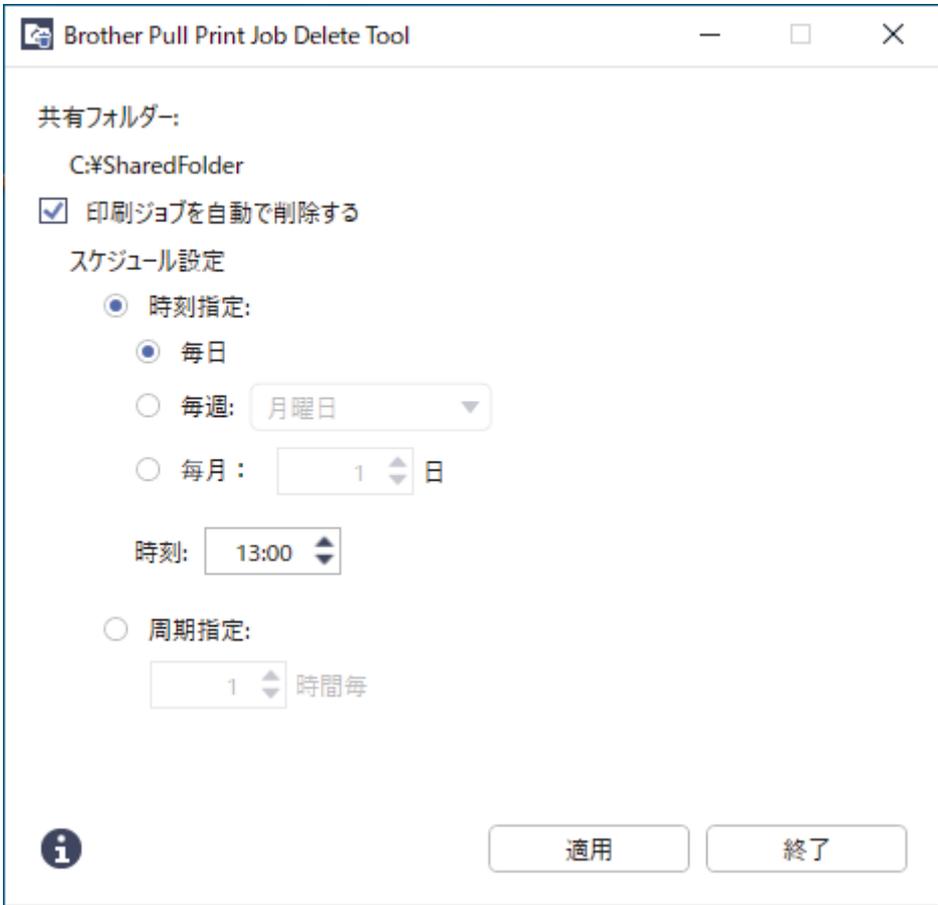
スタート画面の左下にマウスを移動し、 をクリックします（タッチ操作の端末の場合は、**スタート**画面を下から上にフリックし、**アプリ**画面を表示します）。

アプリが表示されたら、**Brother Pull Print Job Delete Tool** をタップまたはクリックします。

- Windows 7

 (**スタート**) > **すべてのプログラム** > **Brother Pull Print Job Delete Tool** をクリックします。

2. **印刷ジョブを自動で削除する**チェックボックスを選択します。



3. **スケジュール設定** を設定します。

4. **適用** をクリックします。

■ トラブルシューティング

- エラーメッセージ
- 本製品で問題が発生した場合

エラーメッセージ

エラー	対処
[データがありません]	<ul style="list-style-type: none"> 製品へのアクセスに使用しているログイン名が、お使いのパソコンのログイン名と同じであることを確認します。 プリントサーバーの共有プリンターのドライバーが Brother Pull Print Driver であることを確認し、そのドライバーで印刷してみます。

Active Directory

エラー	対処
[認証に失敗しました]	<ul style="list-style-type: none"> サーバーアカウントのユーザー名とパスワードが正しいことを確認してください。 LDAP 設定の「カード ID 属性名」が正しいことを確認してください。 本製品の日時が正しく設定されていることを確認してください。
[予期しないエラーが発生しました]	<ul style="list-style-type: none"> 本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。 すべての設定が正しく設定されていることを確認してください。 本製品を再起動してください。
[LDAP エラー]	<ul style="list-style-type: none"> ドメインコントローラーが正しく設定され、ネットワークに接続されていることを確認してください。 本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。
[サーバーが見つかりません]	サーバーがビジー状態です。時間をおいて再試行してください。
[サーバーが見つかりません]	<ul style="list-style-type: none"> ドメインコントローラーがありません。 ドメインコントローラーがネットワークに接続されていません。 本製品がネットワークに接続されていることを確認してください。
[時刻設定が正しくありません]	SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）を設定するか、すべての認証方式に対して日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。時刻は、Kerberos サーバーや CIFS サーバーで使用されるものと一致しなければなりません。

プリントサーバーに接続できない

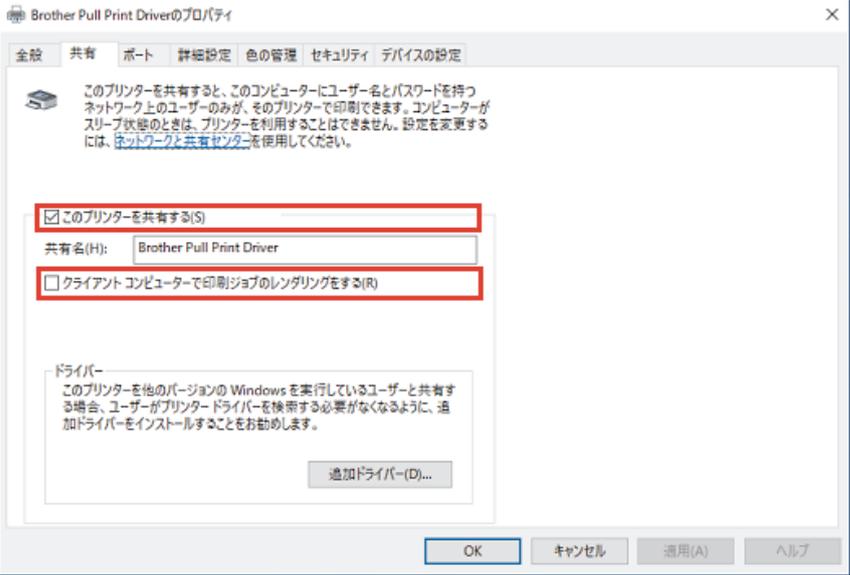
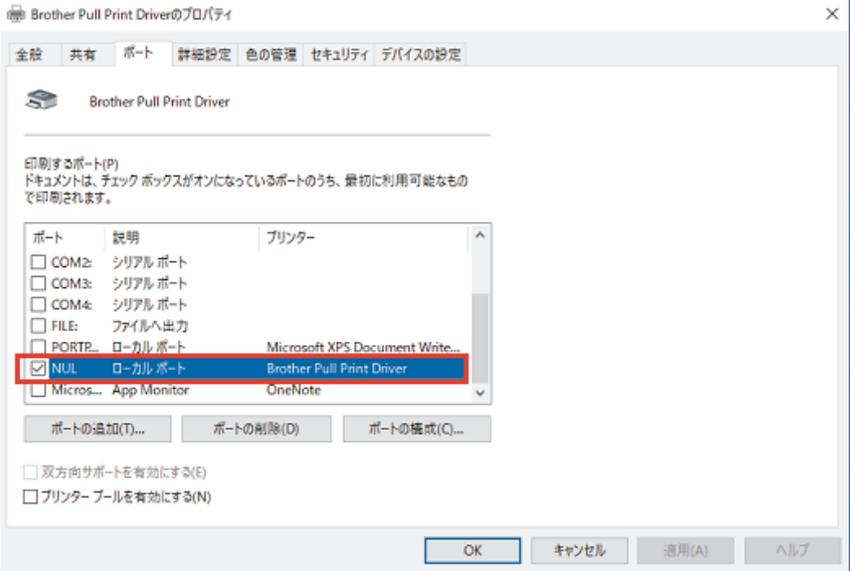
エラー	対処
[認証に失敗しました]	<ul style="list-style-type: none"> 認証設定のユーザー名とパスワードが正しいこと、および使用しているアカウントが各ユーザーのホームフォルダーに読み取り/書き込みを行うアクセス許可を有していることを確認します。 SNTP タイムサーバーが正しく設定されていることを確認します。SNTTNP サーバーがない場合は、Web Based Management または製品の操作パネルを使って 時計設定 と タイムゾーン の設定が正しいことを確認します。
[通信中にエラーが発生しました]	製品は、目的のフォルダーにアクセスできません。 <ul style="list-style-type: none"> フォルダー名が正しいことを確認します。 フォルダーが書き込み可能であることを確認します。
[サーバーが見つかりません]	製品はサーバーへの接続に失敗しました。 ネットワーク接続およびフォルダー設定が正しいことを確認します。
[時刻設定が正しくありません]	SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）を設定するか、すべての認証方式に対して日時とタイムゾーンを正確に設定する必要があります。時刻は、Kerberos サーバーや CIFS サーバーで使用されるものと一致しなければなりません。



関連情報

- トラブルシューティング

本製品で問題が発生した場合

問題	対応
<p>印刷ジョブが製品の操作パネルに表示されません。</p> <p>各ユーザーの印刷ジョブがプリントサーバーの共有フォルダーに保存されません。</p>	<ol style="list-style-type: none">  > Windows システム ツール > コントロール パネルをクリックします。 ハードウェアとサウンドグループで、デバイスとプリンターの表示をクリックします。 Brother Pull Print Driver を右クリックし、プリンターのプロパティ オプションを選択します。 プリンターのプロパティ が以下のように正しく設定されていることを確認します。   <p>ポートに「NUL」が選択されていることを確認します。</p>

✔ 関連情報

- [トラブルシューティング](#)
 - [エラーログファイル](#)

関連トピック：

- [プリントサーバーに Brother Pull Print Driver をインストールする](#)

エラーログファイル

エラーが発生した場合、詳細はエラーログファイルで確認するか、またはお近くのブラザーの窓口にお問い合わせください。

エラーログファイルの場所：

[%SystemDrive%\Brother\PrtDrv\PullPrinting\logs]

エラーログファイル名：

[ErrorPullPrintDriver.log]

✓ 関連情報

- [本製品で問題が発生した場合](#)

動作環境

言語	<p>Brother Pull Print Driver</p> <p>アラビア語、ブルガリア語、中国語、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ハンガリー語、インドネシア語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、セルビア語、スロバキア語、スロベニア語、スペイン語、スウェーデン語、タイ語、トルコ語、ウクライナ語、ベトナム語</p> <p>Brother Pull Print Job Delete Tool</p> <p>中国語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、ポルトガル語、スペイン語</p> <p>セキュリティ印刷アドバンスインストーラー</p> <p>中国語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、日本語、ポルトガル語、スペイン語</p>
----	--

✓ 関連情報

関連トピック：

- [セキュリティ印刷アドバンスの概要](#)

brother